

徳川孝文新天下に形勢を察し將止大政
 返之將軍威權通相系ふ断絶と聞之
 陛下に罪あるを問はるに列度と云はれ
 可なり 臣身は公堂圖成之際懐中引取
 り首級を奉る詐謀を去る三日麾下に少将と
 引率し到帰國に 臣身は所會桑桑
今津一草石
 足跡として闕下ヲモ犯勢現を彼に云瑞
○口闕禁闕トテ御所ニ
 代開のとも孝文反狀明を始終を欺
アサムキ
 朝廷に以て大逆無道其罪不可追以
タカカルテ
 上は 朝廷に御者恕道は他果
ハテ
 夕正事街道付に 臣身は折兵得聞
ヒラキ
 夕も速賊危殊戮に 臣身は民塗土出使し若と
スミヤカ
ツト
ナリ
シ
タン
ト

少殺度

敵^{リヨ}今殺^ニ仁和寺宮追討將軍^ニ任^ニ

偷安^{トウアン}怠惰^{タイテイ}或^シ

兩端^{リウタン}を抱^キ或^シ賊^シ隨^フ或^シ

悔^{クワイ}吾^ゴ憤^{フン}發^{ハツ}回^{クワイ}或^シ

盡^{クワン}忠^シ志^シ才^{サイ}守^シ實^{ジツ}大^{ダイ}思^シ正^{セイ}採^{サイ}

用^{ヨウ}了^{リョウ}或^シ以^リ殺^ス時^ジ以^リ或^シ

大^{ダイ}儀^ギ賊^シ通^{ツウ}謀^{ボウ}或^シ潛^{セン}居^{キョ}

朝^{チウ}款^{クワン}同^{ドウ}所^{ショ}以^リ新^{シン}科^カ以^リ持^チ造^{ゾウ}

し松^{マツ}河^カ津^ツ車^{クルマ}

慶應四年戊辰正月

塗^ヌ上^ウ同^{ドウ}土^ツ炭^{タン}ノ苦^クニナリ

芝^シ山^{サン}長^{チヤウ}尾^ビ三^{サン}力^{リキ}

京^{キヤウ}高^{カウ}札^{サツ}寫^{シャ}

2188
八
14